

周辺ソフト

- Slice Test Software
- ATLAS Online DAQとのすり合わせ

Slice Test Softwareの現状(1)

Property Control

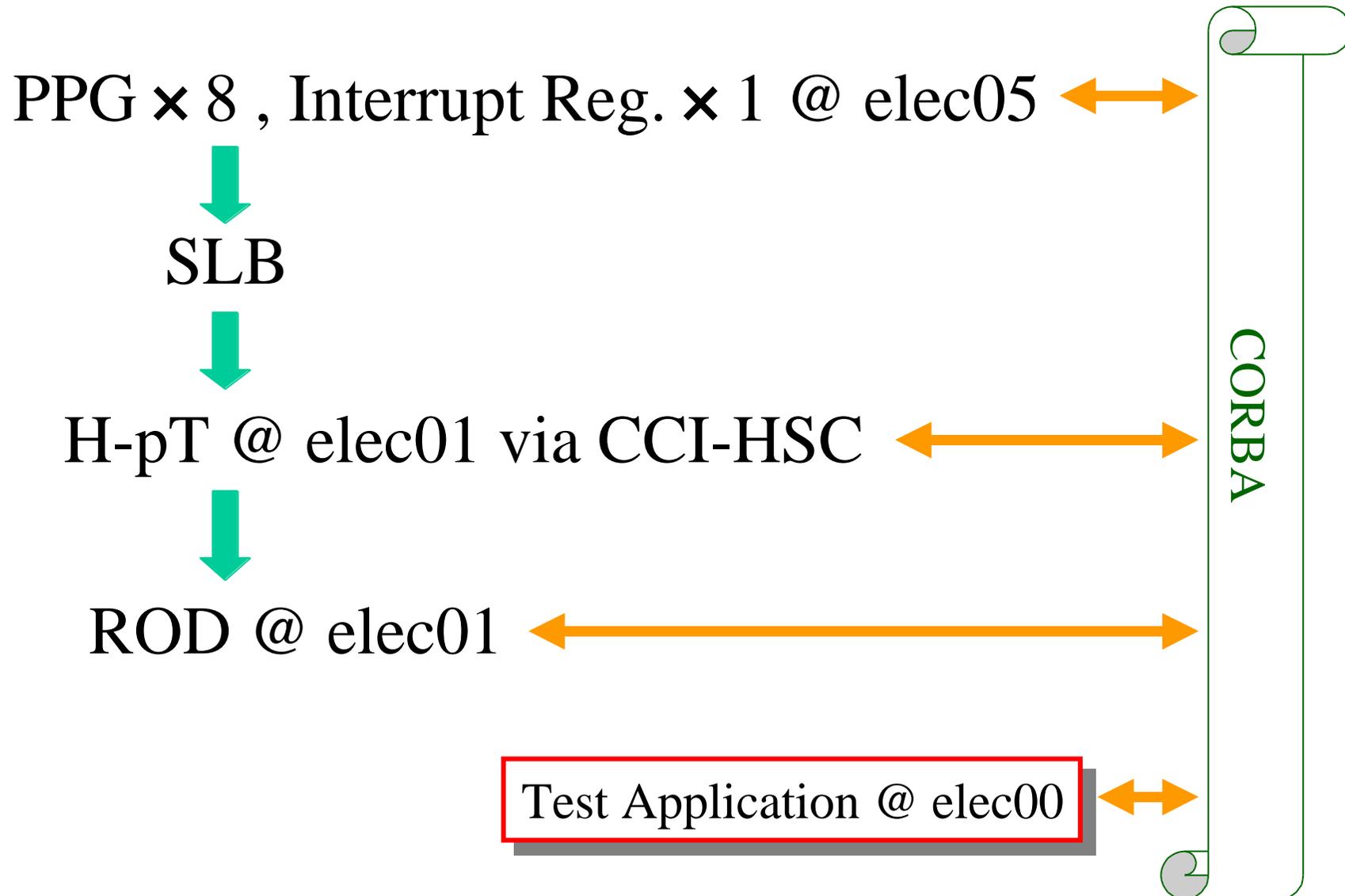
- Local ・ CORBA での CCI-HSCを含めた VME Accessの動作を確認
- H-pT ・ ROD ・ PT4 ・ PPG ・ Interrupt Reg. ・ TOMのコードは完成
- 上記モジュールに関してはGUIでのインタラクティブなコントロール可能

Slice Test Softwareの現状 (2)

Test Management

- 実行時 XMLを読み込み、使用モジュール・コネクション情報・ファイルパーサ・出力データ構造等に沿ったインスタンスを動的に生成し、 Trigger, Read Out それぞれのテストで同じアプリケーションが流用できる
- Start/Pause/Stop ・ XML/入出力ファイルの指定等はGUIによりコントロール

完成している Test Configuration



Test Management Application

XML読み込み・Worker Thread生成

入力データ生成方法の選択

出力先の選択 file/stdout

ファイル名の選択

Threadのコントロール



今後の予定

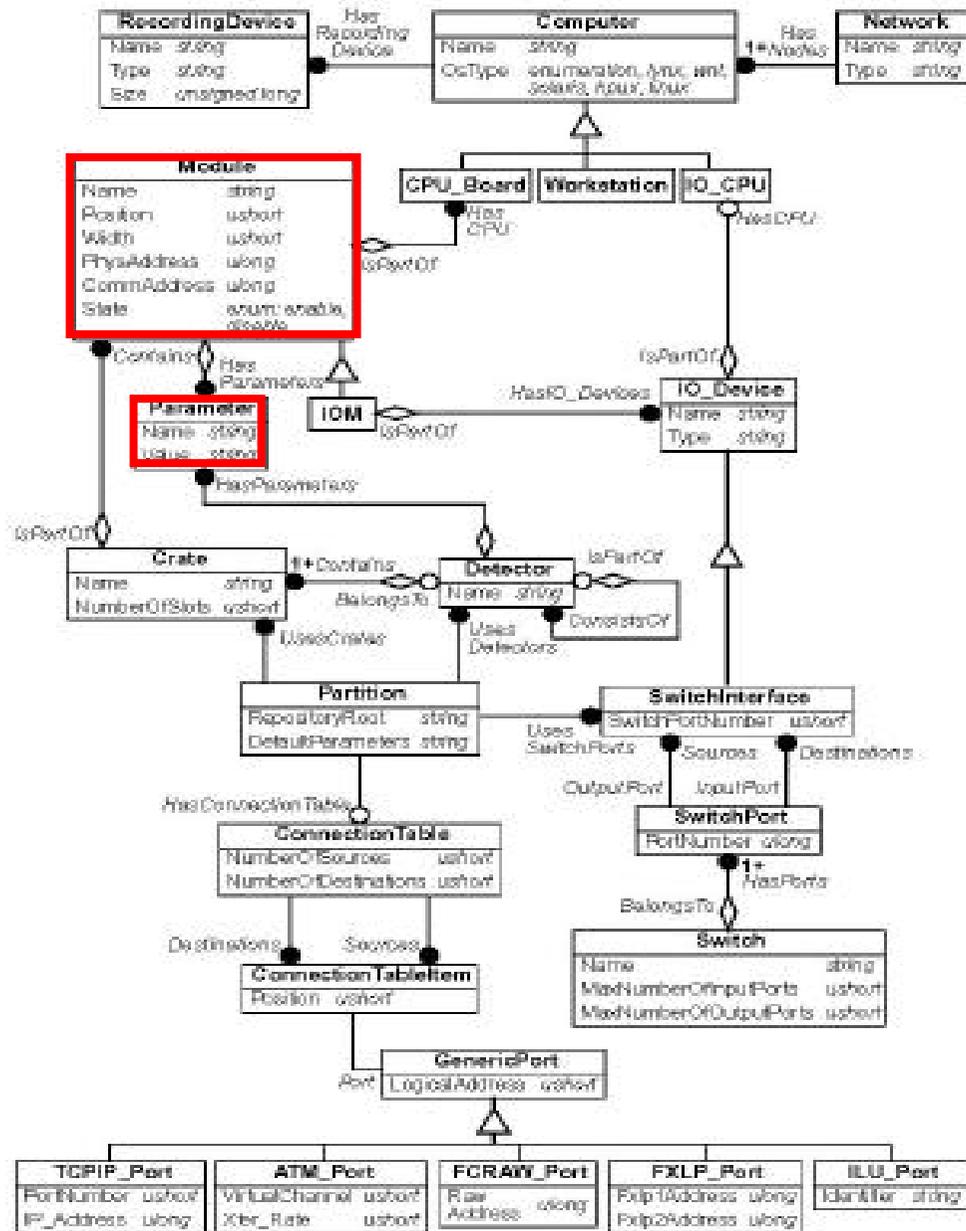
(Slice Test Software)

- SLB・SSW他のコードを組み込む
- 他の Test Configuration 用のクラスを作る
- Simulation を組み込む

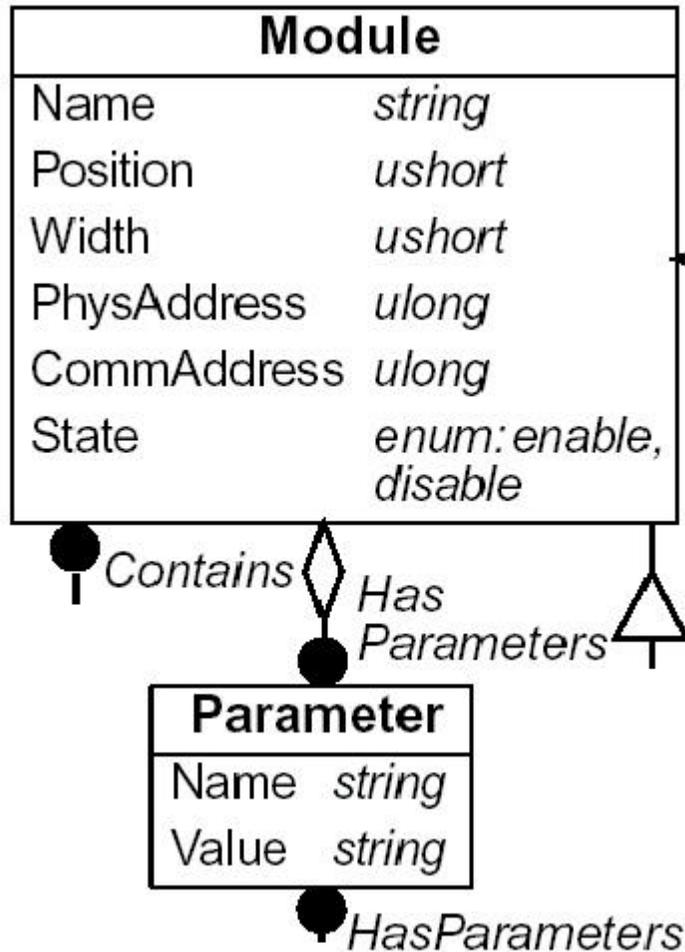
Online DAQ とのすり合わせ

- Online software ver. 0.16を自分のPCにインストールして、一通りの動作を確認
- Slice Test のデータベースをConfiguration Database に載せる為に、Database周辺のソースコードを調査
 - DOM ではなく、OKS-Kernelを用いてXMLにアクセスしている
 - OKS は DTD & Tools.h++を用いており、End Userは触らない方が無難
 - • ここいらの実装に依存しないクラス設計
 - 専用のデータ入力ツールを使う

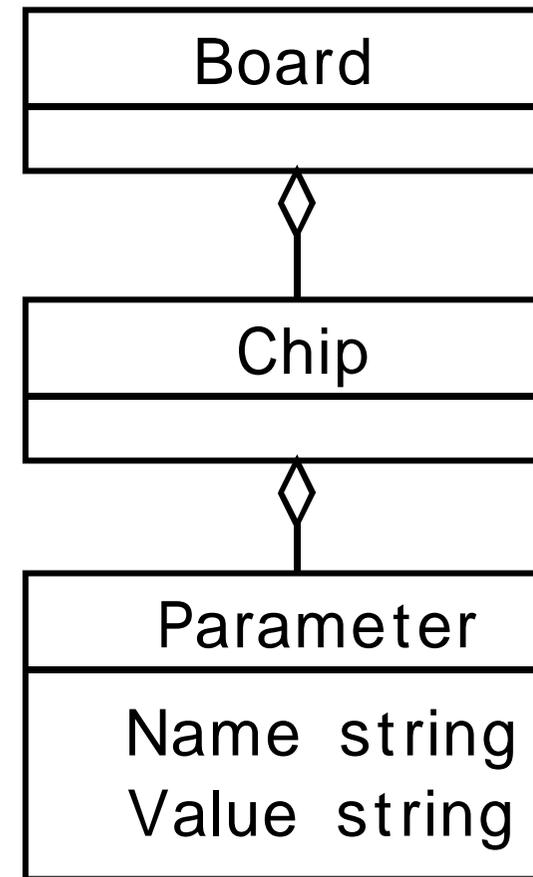
Database の構造



DAQ



Slice Test



- パラメータは string × 2 なので、移植は楽そう
- Name に構造を持たせる (例: Chip1.Reg1)

今後の予定

- H-pTあたりのデータを実際にデータベースに入れてみる
- Run Control S/W の検討